

- 問1 日本国憲法第9条に定められている「平和主義」の内容について、その具体的な仕組みや規定として正しいものはどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|--|--|
| 1. 国際連合の決議がある場合に限り、例外的に戦力の保持と交戦権の行使を認める。 | 2. 国権の発動たる戦争を放棄し、戦力を保持せず、国の交戦権も認めない。 | 3. 他国から攻撃を受けた場合にのみ、報復としての戦争と戦力の行使を認める。 | 4. 核兵器の保有のみを禁止し、通常の兵器による自衛のための戦力は保持する。 |
|--|--------------------------------------|--|--|
- 問2 天皇が行う国事行為に対して、内閣の助言と承認が必要とされる理由として、最も適切な記述はどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 国会が天皇のすべての行為に対して直接指示を出せるようにするため | 2. 天皇の行為について、行政権を持つ内閣が責任を負うため | 3. 天皇が自らの判断で国政に関する権能を行使できるようにするため | 4. 裁判所が天皇の行為の合憲性を事前に審査できるようにするため |
|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
- 問3 現代の民主政治において「人の支配」ではなく「法の支配」が重視されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|-----------------------------------|
| 1. 国家権力の不当な行使を制限し、国民の基本的な人権を守るため。 | 2. 政治を行う権力者の権能をさらに拡大し、指導力を強めるため。 | 3. 法律の手続きを簡略化し、権力者が迅速に政策を実行できるようにするため。 | 4. 政府が国民の行動を制限し、社会の秩序を速やかに維持するため。 |
|-----------------------------------|----------------------------------|--|-----------------------------------|
- 問4 日本国憲法第9条の条文では、国際平和を誠実に希求する立場から、どのような行為を「国際紛争を解決する手段」として永久に放棄すると定めていますか。 (2026年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 他国との経済的な競争や、貿易上の不均衡の是正 | 2. 国内の治安維持を目的とした警察権の行使 | 3. 国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使 | 4. 国際連合の決議に基づかない、他国への人道支援活動 |
|---------------------------|------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
- 問5 ある時期の衆議院の総議員数が465名であったとします。このとき、憲法改正の発議を衆議院で可決するために必要となる最小の賛成人数は何名ですか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 311名 | 2. 310名 | 3. 233名 | 4. 156名 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 国会によって憲法改正案が発議された後、最終的な承認を得るために行われる「国民投票」の仕組みについて記述した次の文のうち、正しいものを選びなさい。 (2024年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 満20歳以上の日本国民が投票権を持ち、有効投票の過半数の賛成が必要である | 2. 満20歳以上の日本国民が投票権を持ち、有効投票の3分の2以上の賛成が必要である | 3. 満18歳以上の日本国民が投票権を持ち、有効投票の3分の2以上の賛成が必要である | 4. 満18歳以上の日本国民が投票権を持ち、有効投票の過半数の賛成が必要である |
|---|--|--|---|
- 問7 日本国憲法の三つの基本原理の一つである平和主義に基づき、日本は「非核三原則」を国の方針としています。この原則が提唱された背景やその後の経緯について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 当時の佐藤栄作首相によって表明され、この原則の確立を含む平和への貢献が評価され、後にノーベル平和賞が授与された。 | 2. 冷戦終結後、東アジアにおける核拡散防止条約（NPT）の批准に代わる独自の防衛指針として策定された。 | 3. 日本国憲法が制定された際、第9条の平和主義を補完するために憲法の条文の一部として最初から明記されていた。 | 4. 国際連合への加盟を承認されるための条件として、安全保障理事会からの要請を受けて急遽策定されたものである。 |
|---|--|---|---|
- 問8 日本国憲法の改正手続きにおいて、発議から公布までの流れを正しく説明したものはどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 国民が改正案を発議し、国会で過半数の承認を得た後、最高裁判所がその内容を審査して、内閣が公布する | 2. 内閣が改正案を発議し、国会で各議院の3分の2以上の賛成を得た後、国民投票で過半数の賛成を得て、天皇が公布する | 3. 国会が各議院の出席議員の過半数の賛成で発議し、国民投票で全有権者の3分の2以上の賛成を得た後、内閣総理大臣が公布する | 4. 国会が各議院の総議員の3分の2以上の賛成で発議し、国民投票で有効投票の過半数の賛成を得た後、天皇が国民の名で公布する |
|---|---|---|---|
- 問9 日本国憲法の三大原則の一つで、憲法前文において「ここに主権が国民に存することを宣言し」と述べられ、国の政治を決定する最終的な権限は国民にあるとする原理を何といいますか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------------|
| 1. 平和主義 | 2. 天皇主権 | 3. 国民主権 | 4. 基本的人権の尊重 |
|---------|---------|---------|-------------|
- 問10 日本国憲法において、天皇は「日本国の象徴であり日本国民統合の象徴」と定められており、国政に関する権能を有しないとされています。天皇が憲法の定める範囲で行う、儀礼的・形式的な行為を何と呼びますか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 国事行為 | 2. 政治的権能 | 3. 国政の監督 | 4. 統治権の総攬 |
|---------|----------|----------|-----------|
- 問11 日本国憲法が保障する基本的人権の体系において、個人が自由に住む場所を定めたり、別の場所へ移動したりすることができる「居住・移転の自由」は、どの権利の一部として位置づけられているか。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|----------|----------|--------|
| 1. 経済活動の自由 | 2. 精神の自由 | 3. 身体の自由 | 4. 社会権 |
|------------|----------|----------|--------|
- 問12 日本国憲法の改正手続きにおいて、国会による発議、そして国民投票による承認を経た後、最終的な工程として天皇がその内容を広く国民に知らせる行為を何というか。 (2023年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 憲法の署名 | 2. 憲法の承認 | 3. 憲法の裁定 | 4. 憲法の公布 |
|----------|----------|----------|----------|
- 問13 2015年に成立した平和安全法制（安全保障関連法）では、日本が「集団的自衛権」を限定的に行使できることが定められました。この権利を行使するための条件として、我が国の存立が脅かされ、国民の権利が根底から覆される明白な危険がある事態を何というか、名称を答えなさい。 (2021年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 国際共同対処事態 | 2. 重要影響事態 | 3. 武力攻撃事態 | 4. 存立危機事態 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
- 問14 日本国憲法の前文では、「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、……ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する」と記されています。この記述が示している、国民主権を具体化する政治の仕組みとして適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 国民の代表者が司法権を兼任し、裁判を通じて主権を直接行使する「裁判官弾劾制度」 | 2. 国会の決定に対して、内閣が国民の承認を得ずに独自に法律を制定できる「官僚政治」 | 3. 重要な政策課題について、国民が常に直接投票を行って決定する「直接民主制」 | 4. 国民が選挙によって選んだ代表者が議会で政治的意思決定を行う「間接民主制」 |
|--|--|---|---|